

☆しつかり見極めよう 日本の将来

ー七月の参院選挙の前に隠れた問題点を見極めるー

安倍総理の所信表明演説

- ◆二月二十八日、安倍総理の施政方針演説が行われました。その内容は、経済実務中心で安倍首相独自の政治理念は封印されています。
- ◆確かに日本はいま、失業、デフレ、消費税、貧困格差、原発、TPPなど国民生活に直結した問題が山積しています。
- ◆安倍首相は過去の失敗から学習し、国民の目を経済問題に釘付にして、国民から懸念される恐れのある右寄りの危険な考えは、七月の参院選挙まで封印しておくことにしたのです。
- ◆実はいま封印されている封筒の中には、「憲法の改正」「軍事力増強」「集団的自衛権の合法化」など危険な考えが沢山入っています。おそらく七月の選挙に勝ったならおもむろに開封されることでしょう。

新しい自民党改憲案からわかる危険性

- ◆昨年四月、自民党は新しい「憲法改正草案」を発表しました。これは二〇〇五年発表の「新憲法草案」より遙かに危険で問題の多い内容です。(裏を参照)
- ◆たとえば第二章のタイトル「戦争の放棄」は「安全保障」に変わりました。戦後日本の国民は、「戦争はこりごりだと身にしみて感じ、戦争はもう絶対にしない」という思いで「戦争の放棄」というタイトルを歓迎したのでした。
- ◆実はこの改正案にも「戦争の放棄」は謳うたっています。自衛の戦争は別だと言っています。先の大戦中も日本はこれは自衛の戦争だと言っていたのです。今回は堂々と国防軍(＝軍隊)を持つと言い、軍人という言葉も出てきます。

憲法改正はもう着手されている

- ◆衆参両院の憲法調査会はいま改憲勢力の圧倒的多数の構成で、改憲に向けて準備を進めています。まず憲法改正を、現行全議員の三分の二で発議するとなっているのを、過半数でできるようなハードルを下げようとしています。
- ◆一方、防衛費は増額され現在違憲としている集団的自衛権の行使も合憲として認めようとしています。またこのたび武器輸出三原則も骨抜きにしました。
- ◆私たち浜松市憲法を守る会は、国民の生活などどうでもよいなどと言っているのでは決してありません。しかし、それに目を奪われるあまり、国民の生活を根底から破壊してしまう戦争への傾斜に警鐘を鳴らしているのです。七月の選挙に向けて、日本の将来をしっかりと見極めておきましょう。

二〇一三年三月十日(日) 第五五三回憲法を守る平和行進
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

現行憲法第二章と自民党憲法改正草案（2012年版）

【現憲法】

第二章 戦争の放棄
第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。

【自民党改憲草案】
第二章 安全保障

（平和主義）

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動としての戦争を放棄し、武力による威嚇及び武力の行使は、国際紛争を解決する手段として用いない。
2 前項の規定は、自衛権の発動を妨げるものではない。

（国防軍）

第九条の二 我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する（中略）
5 国防軍に属する軍人その他の公務員がその職務の実施に伴う罪又は国防軍の機密に関する罪を犯した場合の裁判を行うため、法律の定めるところにより、国防軍に審判所を置く。（後略）